

## 平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	航空工学演習3(Exercises for aircraft engineering 3)		授業コード	C173251
担当教員名	安田 幸夫、郡 弘文		科目ナンバリングコード	
配当学年	3	開講期	後期	
必修・選択区分	選択	単位数	1	
履修上の注意または履修条件	就職に関連する内容ですので、3年生は全員履修するようにしてください。			
受講心得	就職対策の模擬試験を行いますので、解説だけでなく必ず模擬試験を受けてください。			
教科書	市販図書の指定はしませんが、解説冊子を配布します。			
参考文献及び指定図書	特にありませんが、SPIや一般常識の問題集を参考にしてください。			
関連科目	研究ゼミナールA、B、社会参画演習			

授業の目的	「就職とは一体何か、なぜ就職しなければならないのか、就職活動の為に何をしなければならぬのか」等、今現在の自分自身をしっかりと理解した上で自分の将来をしっかりと見据え、自分の能力や技術を磨き、はっきりとした職業選択の動機を持つことを目的とします。その上でその就職試験対策を講じてもらいます。
授業の概要	教員と専門会社による共同の就職対策講座を行います。その内容は企業の採用試験の現状と課題を解説し、その準備として、自己分析、論作文、能力適正テスト(SPI)、一般常識テスト、内田クレペリン検査等講座を行います。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：全体説明</b> 本演習の目的の説明及び15回の授業の予定について説明します。また「研究ゼミナールB」との関連性についても解説します。	
<b>第2週：自己分析</b> 自己分析の必要性ならびにその方法を学びます。就職活動はこの作業から始まります。己に対する自己の開示を躊躇することなく行って、今後の方向性の把握に努めてください。	配布するテキストを熟読してください
<b>第3週：論作文Ⅰ</b> 論作文の書き方を学んだ後、提示された課題について論文を作成します。この文章は後日添削して返却しますので、文章の書き方を理解してください。	「知へのステップ」の論作文を読んでおいてください
<b>第4週：就職活動の心構え</b> 就職活動で重要となる心構えを構築してもらいます。はじめに実際の筆記試験や面接などについての具体的な例を示します。これをもとに自分の中にある抽象的な心構えを、より具体的なものに変える機会にしてください。また、新聞やテレビなどのマスメディアの読み方・聞き方を解説し、実際にそれに取り組んでももらいます。	日頃から新聞に目を通しておいてください
<b>第5週：SPI解法Ⅰ(専門会社)</b> 採用試験で多用されるSPIの解法を学びます。はじめに就職試験におけるSPIの位置づけを学んだ後、「言語能力」分野を中心に演習を行った後、解説を行います。	配布するテキストを熟読してください
<b>第6週：SPI解法Ⅱ(専門会社)</b> 「非言語能力」分野を中心に演習を行った後、頻出する問題について解説を行います。この分野の問題には要領の必要な問題がありますので、その部分を念入りに解説します。	配布するテキストを熟読してください
<b>第7週：SPI模擬テストと解説(専門会社)</b> SPIの模擬試験を実際の方法で執り行います。その後、問題の解法について説明を行います。後日、採点結果を返却しますので、自己の状況の判断材料とし、今後の活動に活かしてください。	採点結果を確認し、自己分析を行ってください
<b>第8週：希望企業調査(就活)</b> Web上で就職を希望する企業の情報を集めてもらいます。実際には50~100社程度の調査が必要ですが、時間が足りませんので、講義中には上位10社について調査、その結果を報告してもらいます。	可能な限り多くの企業情報を集めておいてください
<b>第9週：一般常識テスト</b> 一般常識問題を実際に解いてもらいます。結果は後日返却しますので、自分の現状把握に活用してください。	採点結果を確認し、自己分析を行ってください
<b>第10週：論作文Ⅱの解説</b>	

「論作文Ⅰ」よりもより実地的な論作文の作成方法を解説します。その後、実際に小論文を作成してもらいます。後日、添削結果を返却しますので、前回の結果とあわせて文章作成技術を確実なものにしてください。		前回の添削結果を見直し て臨んでください
<b>第11週：内田クレペリン検査(専門会社)</b> この検査の内容や利用方法を解説した後、実際の時間設定で検査を受けてもらいます。後日結果を返却しますので、自己理解の参考にしてください。		結果が返却され次第、自己分析を行ってください
<b>第12週：面接・自己PR対策</b> 就職試験で行われる面接試験での対応方法について詳説します。面接の方法ごとに注意することの例を挙げるとともに、重要となる自己PRの方法を学びます。		配布するテキストを熟読してください
<b>第13週：学内企業セミナー対策・準備</b> 「学内企業セミナー」の準備をします。具体的にはWeb上で必要となる情報を収集し、それをエクセルのデータとしてまとめ、提出してもらいます。		興味のある企業をピックアップしておいてください。
<b>第14週：就職講座のまとめ(専門会社)</b> 就職活動に関係するさまざまな事柄について解説します。講義で実施した試験の内容についても再度確認を行います。		分からなかったところを抽出しておいてください
<b>第15週：全体まとめ(学内企業セミナーに参加して)</b> 講義の振り返りを行った後、「学内企業セミナー」に出席した感想と講義を受講しての感想と意見をレポートにまとめてもらいます。		自分でも振り返りをしておいてください
<b>第16週：期末試験</b> 期末試験は行いません。		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	就職対策の一環として実施する各種模擬テストに慣れ、まごつかない対応ができる。
<b>【知識・理解】</b>	一般常識やSPIなどの試験内容を把握できている。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	企業が発する就職情報を正確につかむことができる。 限られた時間内に、自分の考えを正確に文章化できる。
<b>【思考・判断・創造】</b>	自分のことをポジティブに捉えることができる。 自己の能力・適性を的確に把握できる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	30点	
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力<知識の獲得)」を含む。		10点	10点	
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力<知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点	10点	
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		10点	10点	
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	締め切りに遅れることなく提出できている 文字がきれいに書けている 構成がよく考えられている 課題の内容を正確に理解し、要求を確実に実施できている
発表・その他(無形成果)	講義に集中して取り組むことができる 欠席や遅刻をしない(これは減点法で採点します。計算方法はつぎの通りです。当初の持ち点は30点です。これより、欠席1回につき5点を、遅刻1回につき3点を減点します)